

聖書キリスト教会 MISSION CHURCHより

すばらしい人生

こんにちは。
2018年7月14日(土)、私どもは、2018年度聖書キリスト教会の年間標語である「原点に立ち帰ろう」という言葉に立って、御言葉に聴き御言葉に生きる、真の主の弟子作りをビジョンとした、MISSION CHURCH開所感謝礼拝を神様にお捧げいたしました。
ぜひ私どもの教会で主の御言葉によるすばらしい人生を送ってみませんか。どなたでも心から歓迎いたします!

ですから、神様の事をいつも第一にしてください。そうすれば、衣食住は、天にいらっしゃるお父様が必ず面倒を見てくださいます。
(マタイによるイエス・キリストの福音 6:33)

教会の集会・プログラム案内

集会	日時	時間
礼拝	毎週土曜日	午後2時
『主の弟子となる』学び	土曜礼拝後	午後3時~4時半
祈禱会	学び後	午後4時半~6時
三浦綾子読書会	月1回(課題図書あり)	午前10時~11時半



2018年7月14日 MISSION CHURCH 開所記念感謝礼拝

☞ 聖書キリスト教会MISSION CHURCHは、聖書信仰に立つ伝統的なプロテスタント教会で、福音派の日本福音同盟に加盟しています。

喜び



聖書キリスト教会
MISSION CHURCH

牧師紹介

1927年、東京に生まれる。1951年、早稲田大学を卒業。学生時代にキリスト者学生会(KGK)を創設。1953年、東京神学塾を卒業。ただちに高田馬場の路傍に立ち、開拓伝道を開始し、今日の聖書キリスト教会を築く(現在、聖書キリスト教会会長牧師)。教会のかたわら、神学校で教鞭をとり、のちの東京神学校を開設し、後継者育成につとめる(現在、東京神学校校長)。母校の大学院、及び他の二つの大学院で研究を続け、博士課程を終える。百数十冊の著書をあらかし、ひとりで全聖書を訳し、読むだけで分かる聖書として広く読まれている(現代訳聖書)。アジアの人々に対する謝罪運動を提唱し、自らアジアの国々に赴き、謝罪の実をあげる(現在、日韓親善宣教協力会会長)。日本福音功労賞受賞(2007年)。学術博士(Ph.D.)など四つの学位(博士号)を持つ。

最近の著作

- 『現代訳聖書』(現代訳聖書刊行会)
- 『聖書の講解』(羊群社)
- 『キリスト教について本当のことを知りたい』(羊群社)
- 『死後のことについて本当のことを知りたい』(羊群社)
- 『信仰生活の手引き』(いのちのことば社)
- 『へブル人クリスチャンへの手紙講解』(羊群社)
- 『今も生きておられる神』(ブレイズ出版)
- YouTube: ルンルンおじいちゃんねる



2020年1月14日 ルンルンおじいちゃんねる開設

すばらしい生活が始まりました。今始まったばかりのこのすばらしい生活についてもっと知る必要があります。そのために、ぜひ私どもの教会においでください。すばらしい人生を送ることができるようにお助けしたいとおもっております。お待ちしております。

アクセス

JR・西武新宿線 高田馬場駅 早稲田口徒歩2分
東京メトロ東西線 高田馬場駅徒歩1分



2019年12月21日 MISSION CHURCH クリスマス礼拝

聖書キリスト教会
MISSION CHURCH

主任牧師 尾山令仁
宣教師 韓正美

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-26-12 高田馬場ビル406号室
土曜礼拝 毎週土曜日午後2時
<https://www.facebook.com/227272147904946/>
TEL:080-7754-9246

すばらしい人生を送ってみたいと思いませんか。

1 神があなたのために用意しておられるすばらしい人生を知ってください。

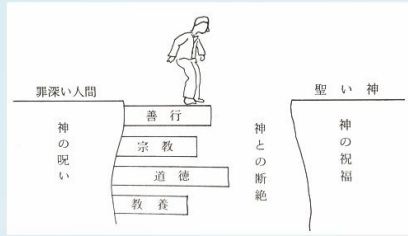
- (1) 人間は何のために生きるのかということが分らないと、生きることに苦痛を感じます。人生の目的についてはつきりしている人は、力強い、有意義な生き方ができます。
- (2) 人間は神によって造られた者ですから、私たち人間の生きる目的は、神が定め、神が持っておられます。
- (3) 神は、私たちにすばらしい人生を与えようとしておられます。「神はあらゆる人が救われて、真理をさらに深く知ることができるようにと望んでおられる」(テモテ 1:24)

救いとは、神が私たちに用意してくださるすばらしい人生です。キリストはこう言われました。「わたしの目的は、人に本当の命を与え、それによって豊かな生活を送らせることです」(ヨハネ 10:10)

それでは、どうして、多くの人々は、このようにすばらしい人生を送ってはいないのでしょうか。

2 人に問題があるのです。それは神から離れてしまったことです。

- (1) 人は罪を犯し、聖い神から離れてしまったため、神の御心が分らなくなってしまいました。「あなたがたの罪が、あなたがたと神との間を隔てて、主の御顔を覆ってしまったのだ」(イザヤ 59:2)
- (2) いくら自分の知恵や力で努力してみても、聖い神のもとに行くことはできなくなってしまいました。「すべての人は罪を持っているので、神の栄光に輝く救いに自分で到達することができなくなりました」(ローマ 3:23)
- (3) 罪を持ったままであれば、人の運命は死と裁きでしかありません。(ヨハネ 14:6)

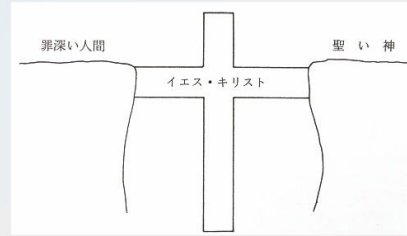


「罪が支払うべき値は死、つまり神の呪いである」(ローマ 6:23)
「人間は、だれでも一度は死に、死後、裁きを受けなければならないことが決っている」(ヘブル 9:27)

それでは、一体どこに解答があるのでしょうか。

3 神は解答を用意していらっしゃいます。それがキリストの十字架です。

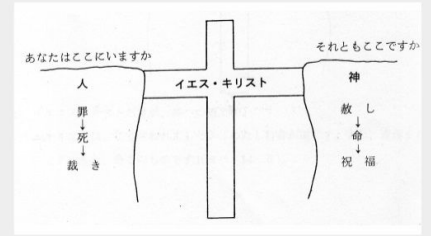
- (1) イエス・キリストだけが、神と人との間の唯一の仲介者です。「その真理とは、神が唯一人であり、神と人との間に仲介者も唯1人であって、それは、人となられたキリスト・イエスであるということである」(テモテ 1:25)
- (2) なぜイエス・キリストだけが、神と人との間の唯1人の仲介者なのかと言うと、イエス・キリストが、私たちのために尊い命を投げ出されたからです。「キリストは、全人類を救うために、ご自分の命を投げ出された」(テモテ 1:26)
- (3) それがキリストの十字架上での身代わりの死です。キリストは私たちが受けなければならない罪の刑罰を、身代わりに十字架上で受けてくださいました。「神は、罪を知らないお方キリストを私たちの罪の身代わりに十字架上で罰せられた。それは、私たちがキリストを信じることによって救われるためである」(コリント II 5:21)
- (4) 罪に汚れた人間と聖い神の間にある深淵を埋めてくださったのは、イエス・キリストだけです。キリストはこう言われました。「わたし自身が道です。また、真理それ自体です。また、命そのものです」(ヨハネ 14:6)



それでは、私たちはどうしたらよいのでしょうか。

4 それに対するあなたの応答はキリストを受け入れることです。

- (1) 神が用意してくださった、すばらしい救い主イエス・キリストを受け入れる時、あなたは神があなたのために用意しておられるすばらしい人生に入ることができます。あなたは神の子としていただくことができます。「このキリストを受け入れる人はだれでも、神の子供としての權威をいただくことができます。このキリストを信じる人はだれでも、救っていただくことができます。キリストを信じる人は、神が生まれ変らせてくださるのであり、それは、決して先祖や親が信仰を持っていたからということによるのではなく、人間の願いや思いによるのではなく、ただ神の御心にほかならないのである」(ヨハネ 1:12,13)
- (2) キリストを信じるとか、受け入れるというのは、ただ頭でキリストを承認するだけでなく、イエス・キリストに信頼し、自分を招いてくださるキリストの招きを受け入れ、キリストを信じることです。「さあ、わたしはあなたが、悔い改めることを期待して、心の扉をたたいている。もしわたしのたたき音を聞いて、心の扉をあけるなら、わたしはその人の心の中に入って、すばらしい交わりを持つと思う」(啓示 3:20)
- (3) キリストを受け入れるとは、今までの利己的な生き方を捨てて(悔い改め)、キリストを心の中に迎え、罪を赦していただき、神が願っておられるような人間にしてください。それを信じることです。



あなたはこのイエス・キリストを今受け入れたいと思いますか

5 イエス・キリストを受け入れるために、あなたがしなければならないこと

1. 救い主の必要を認める。(私は罪人です)
2. 罪から進んで神に立ち返る。(悔い改める)
3. イエス・キリストがあなたを罪から救うために十字架上で死んでくださったことを信じる。(信仰)
4. イエス・キリストを救い主として受け入れる。(次の祈りによって)
「主イエス様。／私は罪人です。／あなたの赦しが必要です。／私はあなたが／私の罪のために死んでくださったことを信じます。／私は罪を捨て、／あなたを私の心の中にお迎えいたします。／私は、あなたを救い主と信じ、／お従いいたします。／アーメン」

(この祈りを一緒にする時には、導いた人が一区切りせず言って、その後について祈らせるとよい。／の箇所は区切る一応の目安)

救いについての神の保証の御言葉

「主のお名前を呼び求める者は、だれでも救われるのである」(ローマ 10:13)
また、キリストはこう言われました。「わたしは彼らを永遠の救いに入れますから、決して滅びることがありません」(ヨハネ 10:28)